



LD等発達障害児・者親の会  
「けやき」機関紙

第104号

2014年3月発行

発行者・代表 三輪 覚子  
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8  
[http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

## 平成26年度 総会のご案内

けやき会員の皆様

いつもご協力ありがとうございます。

下記により平成26年度親の会「けやき」の総会を開催いたします。会員の皆様には、ご多忙中とは存じますが万障お繰り合わせの上、必ずご出席ください。

なお会員継続される方は、総会または5月例会時に更新手続きを完了して頂きます様お願いいたします。

今年度の総会議事終了後は、講演会を予定しておりますので、時間厳守で総会プログラムの進行に、ご協力をお願いいたします。

### 記



**日時** :平成26年4月26日(土)12:00~16:30 (総会議事12:30~13:30)

**場所** :東京都多摩社会教育会館 303研修室

<b>内容</b> : ①会員更新・入会手続き	12:00~12:30
②総会議事	12:30~13:30
③講演会受付および準備	13:30~13:45
④講演会および質疑応答	13:45~16:15
⑤会場片付け・解散	16:15~16:30



# 1月例会の報告 「職場での支援と工夫を学ぶ」



1月25日(土)の例会は、「職場での支援と工夫を学ぶ」をテーマに開催しました。アドバイザーとして、東京ジョブコーチ支援室の西村室長にお出でいただき、働くということの基本的な心構え、働き方、そして職場での支援と工夫をすることによって定着へと結びついた事例等、多岐にわたる内容のお話をさせていただきました。

障害のある・なしに関わらず「働く」ということは、その人の生活の一部であり、自分にあっている職場かどうか、企業から必要とされているかどうか、どこで働き・どんな仕事をするのかどうかを、本人が理解し納得していなければならないことが大切です。その上で支援や工夫が必要かどうか。必要な場合にはどのような支援があるのか・工夫ができるのか。

本人や支援機関そして企業側からの依頼を受けて、ジョブコーチが活用されることとなります。すでに働いている方への支援なら、本人が会社の中で貢献できることを再確認すること。これから雇用予定の企業の方には、スムーズに受け入れられるよう支援することが基本となり、本人の希望をできるだけいかせるマッチングに努められていることがわかりました。

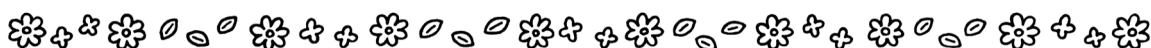
これから求職する方々は、仕事にはさまざまな業種があり、業種に合わせて必要な能力が異なることを知っておくことも大切です。

社会の中で生活できるマナーや基本的な生活習慣は、働く前に身に付けておきたいことですし、「働く意欲」につながる安心・安全な日常生活を保障してやるのが親にできることだと、強く印象に残りました。

三輪

## 【参加者の感想より（一部を掲載）】

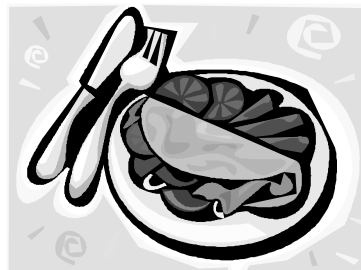
- ❖現実的な支援を教えていただき、大変参考になりました。
- ❖お話から、就労するのに必要な能力が何か良く分かり、自分の子どもに不足している部分を改めて感じることができました。
- ❖具体的な事例もお話していただいたので、参考になりました。
- ❖ジョブコーチの利用は企業就労だけだと思っていたが、20時間以下や実習でも可能と知り、とても参考になった。



## 忘年会&役員会

12月21日(土) 11時～ 国立藍屋にて

役員会を兼ねて、多摩障害者スポーツセンター近くの藍屋で忘年会を行いました。ランチの時間帯なので忘年会に付きもの(?)のアルコールはとらず、子供の状況を報告しあったり、日頃の悩みを吐露したり・・・と、思いっきり皆で心の内を話し合えるのは、やはり顔を合わせたこのような会ならではの、だと思います。子供はほとんどが20才以上でしたので、年金も切実な問題として、話題になりました。国の制度なので、住んでいる自治体で違うはずはない、のですが、現場の状況では少し違うのではないかと、という印象です。生活の質にも大きく影響してくる年金問題。子供達が親亡き後も、生き生きと元気に暮らせるように、不公平感のない充実したものであることを望みます。仕事上のトラブル、車の免許取得、男女交際・・・本人のプライドもあり、その前面に出てというのはいけないのですが、やはり親や周囲のサポートは必要となってきます。親が、精神的に孤立しないためにも、こうした時々顔を合わせて話ができる場は有難いと思ったひと時でした。



A. U.

## 2月役員会報告



### 提 案

### 平成26年度の会費について

会費の運用状況につきましては、会員が減少した数年前より、役員・会員の皆様のご協力をいただいて、印刷費や会議費等を切り詰めながら執行してきましたので、次の年度に十分な金額を繰り越すことができいております。

本来親の会の会費は、会員が出し合った金額の中で運用し、会員に多くを還元することが理想の使い方だと考えます。その点では赤字経営ではありますが、予備費を貯めておくのではなく、今よりもっとその年度内の活動費に使うことを考えてもいいのではないかと考えています。

全会員に該当する、還元できる方法として、会則を変更する前に、

- ①26年度は5000円会費でやってみる。(500円の値下げ)
- ②グループ活動助成金を一人当たり2000円とする。(助成額の倍増)
- ③その結果で27年度以降の会則変更を検討するという手順を取る。

以上の3点を提案いたします。

皆様よろしくご検討ください。ご意見ご質問等は、三輪までお願いします。

三輪

## 関東ブロック会議報告

日時：3月9日(日)13:00～16:00

場所：港区障害保健福祉センター会議室

出席者：理事長・評議員2名・親の会12  
団体の代表者24名

昨年11月から今年の2月までの全国LD親の会評議員会報告を評議員2名から、それぞれの親の会12団体から活動報告がありました。

### ▶ 全国LD親の会評議員会報告

1) 組織運営に関する審議      2) 事業実施に関する審議

### ▶ 各会からの報告と話し合い

各会の相談会等位置づけについて工夫等を出し合いました。

### ▶ 感想

特に今回の会議の中で「合理的配慮」という言葉が印象に残りました。今年の6月15日に開催される第13回公開フォーラムで「これからの発達障害と合理的配慮」の講演が予定されています。つくし(就学期の子どもをもつ親たちの会)の中でも良く話し合われますが、学校教育の中で、LDの子どもたちへの配慮が殆どなく、教室の中(授業時間)で、精神的孤立となる場面が多く有り現状から「合理的配慮」の概念が学校全体で共有されるよう望み見ます。

T.T.

## 東京都発達障害者支援体制整備推進委員会報告

### [第1回]

日時 平成25年7月3日(水) 18:30～20:00

場所 都庁第一本庁舎 42階北棟 特別会議室B

### [第2回]

日時 平成25年11月19日(火) 18:30～20:00

場所 都庁第一本庁舎 33階南側 特別会議室S6

### [第3回]

日時 平成26年1月27日(月) 18:30～20:00

場所 都庁第一本庁舎 42階北棟 特別会議室B

### (感想)

乳幼児健診で発達障害の早期発見・早期支援ができるようになり良かったと思いう反面、もっと早くできていたら、苦勞のしかたも変わっていただろうと思いました。現在利用している発達障害者支援ハンドブックも5年になり、来年度からは、改訂版が作成され、最新の情報と内容をより充実されたハンドブックが手元に届くのが楽しみです。

O. N.



## 支援員受講報告



### 《ボランティア支援員養成講座に参加して》

2月15日（土）、16日（日）の2日間、全国LD親の会主催の「ボランティア支援員養成講座」に参加しました。前日の14日から降り続いた雪の影響で、一部の講座が無くなったり、来られなくなった方もいらっしゃいましたが、それでも会場には熱心な参加者が大勢集まりました。

#### <1日目>

支援員の心構えから始まり、特別支援教育の意義や、担任の先生とどのように連携して役割を果たしていくかというお話が中心でした。

支援員と言えども児童生徒から見れば先生であり、その学校・学級のルールを理解して、担任の先生等の指示に従いながら、その子どもに合った支援をしていくというのは、親の立場しか経験のない私達にはなかなか難しい、レベルの高いものを求められているなど感じましたが、逆にそれだけ支援員に対する期待が大きいということであり、気持ちを引き締めました。

#### <2日目>

保護者の置かれている状況や気持ちを知り、障害の特性を理解した上で、どの様に対応・協力・サポートしていくかを、実際にワークを行いながら考えるものでした。保護者の心理については自分も経験してきたことであり、私達が「生きる」部分でもあります。また、対応についてワークを通して一例を学びましたが、感覚や脳の情報処理、環境等、様々な面から要因が検討され、徐々に対応方法やサポートの仕方についても整ってきたのだなと感じました。

#### <2日間を通しての感想>

すぐには理解が難しい部分もありましたが、支援員だけでなく、日頃発達障がい児・者に接している人に必要な知識や考え方、技術等をコンパクトに詰め込んだ、内容の濃い講座でした。支援員として色々なケースに対応できるようになるためには、この講座を踏まえた上で、多くの経験を積み重ねていくのが良いのでしょうか。一番大事だと思ったのは、その子どもを丁寧に見ることです。良く見ないと、本当に必要な支援が分からないからです。何事もすぐに「こんな感じ」と決めてしまう日頃の私を、多に反省させられた2日間でもありました。

(1日目に出席できなかった為、出席された方にも様子や感想をお聞きしました。御協力、ありがとうございました。)

H



# 自主グループ活動報告

## ポーシ ポーシ



11月10日(日)

近況報告は旅行の話、仕事の話、好きなテレビ番組の話など、様々な話題を語り合いました。その後「フラッシュ」という紙ペンゲームをしました。お題に合わせて連想をしたもの5つを書き、他の人たちと回答が重なったら、点数が多くなるゲームです。

12月8日(日)

午前中はボーリングをしました。楽しくり上がり、毎年メンバーのスコアが上がっています。お昼は立川駅のラーメンスクエアの中のお店で食べた人が多かったです。午後はカラオケでした。たくさんの歌を楽しみました。

1月12日(日)

近況報告は初詣へ行ったこと、テレビ番組を堪能したこと、ゲームなど楽しかったことなどの話がありました。メンバーの一人が、青春18きっぷを使って、仙台まで旅行してきたと語りました。また、お土産まで持ってきてくれました。その後、調理活動をしました。メニューは話し合いで決め、お好み焼きと焼きそばの調理をしました。

2月9日(日)

映画を見る予定でしたが、悪天候のため中止になりました。

3月9日(日)

近況報告やゲームをしました。長い間、活動を支えてくださっているサポーターが、このたびめでたくご結婚されたので、お祝いの言葉を伝えた人もいましたが、とても驚いている人もいました。

T・A



## つくし

今年度は、学生ボランティアの方が、毎月1回の交流会に参加していただきました。毎回話題提供をしていただき、その話題を基に我が子の状態を考えながら…と、交流会は進みました。

その学生さんがつくし最後の会で、私たち親へのアンケートの集計結果を報告して下さいました。『親の会の存在は、仲間作りや情報収集の場としての役割を果たすという事が大きく有るが、その親の会の親たちが抱えているストレス対処の場にもなっている趣旨のお話がありました。また、発達障害の中でもLD児は、周りとの違いが分かっており、障害への理解のあやふやさに苦しみ、自己肯定感が低くなる。そのため、心理面等のケアが必要と言う事が見えてきた』。この報告を聞きながら、つくしの親たちは、一堂に子どもたちの状態を思い出しました。

多くの学校では、例えば、算数場合、少人数による学習変成が組まれていて、学校によっては、算数ボランティアとか学習支援員が入って、子どもが分かるような体制を取られているようです。算数以外の教科も、そのような編成に拡がることを望んでいます。

今年度も毎月1回の集まりが持てました。来年度の第一回の集まりは次の通り。

日時と場所：5/17(土) 10:00~12:00 国分寺労政会館 和室2 T・T

## 講演会のお知らせ

1. 日時 平成26年4月26日  
13:30～16:15 (総会后)
2. 場所 東京都多摩社会教育会館  
303研修室

平成26年度総会後の  
会員交流として講演会を  
計画しました。  
会員の皆さんは、ぜひ  
参加してください。



## 発達障害のある人の居場所作り

いつでも行ける憩いの場所「NeccoCafe」と  
就労継続支援B型事業所をたちあげて

### 3. 講師 金子磨矢子 氏

一般社団法人発達・精神サポートネットワーク  
就労継続支援B型ゆあフレンズ&グループホームねっこや理事長

### 山本純一郎 氏

一般社団法人発達・精神サポートネットワーク  
就労継続支援B型ゆあフレンズ 職業指導員

金子さんも山本さんも、発達障害をもつ当事者です。

お子さんの発達障害がきっかけで、ご自身にも発達障害があることがわかった金子さん。知り合った仲間たちと、いつでも行ける場所・安心できる居場所がほしいと願い、フリースペースをオープンさせました。もちろん紆余曲折の末にです。システムエンジニアの仕事をしながらも、上司との関係がうまくいかなかった山本さん。

同じ仲間を探し、自分らしく働ける場・力を発揮できる場づくりを目指しています。現在の活動の様子や今後の計画、苦労話、大人の当事者の困難さ、これからの課題等お話していただきます。参加者の皆さんとのやり取り（質疑応答）の時間を多く取りながら、有意義な研修にしたいと考えています。

4. 総会後の会員研修とし、けやき会員は参加費および事前申し込みは不要です。一般の発達障害に関心のある方、関係者もご参加いただけますので、詳細はHPをご覧ください。(事前申し込みが必要で、有料です。)

# 散歩道



「きみは極端に苦手なことがあるから病院に来ているのであって、病気ではない。近視の人が眼鏡をかけるのと同じ感覚で薬を飲んでいる。だから病気とは違うんだ」  
じっと目を見て語りかける主治医の言葉に、息子は納得したようにうなずいた。ずっと不安だったのだろう、先日私に「ぼくの頭はおかしいの？ 友だちは誰も病院に行ったりしないし、検査を受けたりもしない。ぼくの頭はそんなにおかしいの？」と真剣な顔をして聞いてきたから。言葉に詰まった私が診察の時、医師に助けを求めたところ返ってきたのがこの答えだった。

それからしばらく経ったある日、夜遅く帰ってきた息子が夕食を食べながら、「このごろ思い悩まなくなったんだ。前はずいぶん思い悩んだけどねえ。人は人。そう割り切れるようになった」と言って感慨深げな顔をした。

高3の息子は友だちと進路のことで話し合ったのだという。友人は希望の大学に進学が決まっている。きっと息子のようなハンディはないのだろう。息子は小さい頃からの夢の一つまた一つとみな諦め、憧れだった大学進学之梦も捨てた挙句に、ある専門学校で技術を身に着けると自分で決めたところだった。しょんぼりとしてたよりなげだった肩のあたりが、わが道を行くと決めてから少しだけたくましくなったように見えた。まだまだ揺れ動くことはあるだろうが、それでも確実に成長しているのを感じる。

「明日の朝、早く出かけるから、いっしょに起きて」学校に遅れるのを心配して声をかける私に、「作っておいてくれればいいんだよ、柔軟に対応するから。それと、お弁当には舌の喜ぶものを」と言うので思わず吹き出してしまった。

千鳥草

## 【編集後記】

久しぶりに横浜に行って来ました。横浜大栈橋には、大型客船が停泊していました。その大栈橋からみなとみらい21地区の写真を撮りました。船の甲板のようなウッドデッキのフロアがとても印象的でした。大栈橋から徒歩で朱雀門から中華街に入りましたが、まっすぐに歩けないほどの人混みで、ゆっくりとお店を見て歩くことができず少し残念でした。昼食で中華料理を食べ、特に麻婆豆腐が美味しく楽しい気分になりました。



T.M